



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

端午の節句～ふじやまに泳ぐ鯉のぼりと鎧・兜飾り～

5月の風に雄々しく泳ぐ古民家の鯉のぼり。今年もそんな季節を迎えました。サクラが散り、薫風があたりを駆け抜けるころ、前庭には端午の節句を祝う鯉のぼりと、座敷には五月人形飾りの準備が始まります。



鯉のぼりのポールは 16mを誇り、鎌倉街道沿いからもその姿を見ることができていましたが、安全上の問題もあり 12mに。鯉も 8mと少しだけ小ぶりになりました。それでも、座敷には、鍾馗さまを初め、たくさんの五月人形が勢ぞろいし、それは圧巻です。

5月5日こどもの日。「子どもの人格と幸福、母に感謝の日」という趣旨だとか。5月の澄んだ空に悠々と泳ぐ鯉のぼりに我が子の成長を祈願し、母にも感謝の念を。

今では耳にしなくなった、やねよりたかいこいのぼりで始まる「こいのぼり」では、ひごいを「こどもたち」と歌っています。昭和に入ってから、真鯉(父)、緋鯉(母)、青い鯉(子)というのが一般的になったそうです。

また「背くらべ」などの童謡には中国由来の「ちまき」が登場。日本では「柏餅」を食べる風習がありますが、柏は新芽が出るまで古い葉が落ちないことで「家系が絶えない」という縁起物。ふじやま公園にも枯れてしまったと見まがう柏の樹が長屋門前にありますので併せてご覧ください。

鯉のぼり、五月人形飾りは、4月20日(水)から5月16日(月)まで



本郷ふじやま公園古民家周辺に防犯カメラが設置された。そんなに犯罪が増えた、というわけではなく、あくまで予防や万一の時のためということのようだ。防犯カメラは監視カメラとも呼ばれてプライバシー保護の面からも警戒されることが多いが、公園では花火による火災の恐れ、飲食による空き瓶や空き缶などの放置によるけがの恐れが心配されてきたので、それらの心配を軽減するため古民家の周辺に設置したもの。従来からの火災感知器、赤外線検知器などと相まって公園の安全性・快適性が向上し、より楽しい公園になってほしい。

ふじやまのお花見の会は今年も雨で中止



誰の行いが悪かったのか、ふじやま公園のお花見会は4月3日(日)の予定でしたが、今年も朝からの雨にたたられて、2年連続の中止になりました。前日から用意しておいた演芸用舞台、模擬店やお茶席なども中止。大島桜や山桜の大木の桜の花は絶好の咲き具合だったので、雨が上がった頃からお客様が見え始め、それならと、朝から待機していた自明流創作剣劇会の面々が前庭で演武を披露しました。少しばかり楽しみました。来年こそ晴れますように。

《炭焼き広場の竹垣がリニューアル》



朽ちていた竹垣が7年ぶりに新しくなります。2月中旬から里山と農芸の部会員20人余りで公園内の真竹、孟宗竹を



400本ほど伐採、枝を落とし長さ5~6mもある竹は竹林から運び出すのに苦労しました。竹垣の作業は専門業者の指導の下、自然に成長した竹の太さ、曲がり具合などを見極めながら長さを揃え竹を割り、また釘打ちは割れ防止から事前にドリルで穴を開け打ち込みます。そして竹と竹の繋ぎは大小の太さを組み合わせ、節まで入れて長くするなど竹本来の自然の姿に歩み寄ります。昔ながらの手法は一見の価値あり！
4月末、完成予定です。



古民家Q&A 茅葺屋根の寿命

Q: 茅葺屋根は何年ぐらいもちますか

A: 茅葺屋根の葺替えは普通20~30年毎に行われるといわれています。実際は手間をかけないですむのは10年未満です。

陽の当たらない北側の面に苔が生えたりして、早くからいたみが見え始めます。そのためいたみの早い部分のみ葺き替える差し茅(サシガヤ)が行われます。やがて全面すべて葺き替える丸葺き(マルブキ)の時期を迎えます。寿命を延長するため囲炉裏などで薪を焚くことが有効といわれています。これは乾燥作用と煙に含まれるタール成分などが茅の表面を樹脂膜状にコーティングして、外部からの雑菌などの進入を防止し、雑菌や昆虫を除去する働きなどで、茅を長持ちさせるからです。いわゆる囲炉裏効果です。



ふじやま公園の古民家では火災予防の観点から毎日火を焚くことが出来ず、更にカラスによる茅の引抜きもあり、いたみを速めています。すでにサシガヤなど手入れを行っています。寿命延長のためもっと頻りに囲炉裏やかまどで薪を焚きたいところです。



ミツバアケビ アケビ科



日本に分布し特に北海道から本州北部に多いツル性の低木。アケビにはアケビ、ミツバアケビ、ゴヨウアケビ、ムベの4種がある。4月～5月新芽を出し陽の当たる場所で育つ。違いは小葉(しょうよう)の形成する部分が3枚の小葉が集まって1枚の葉になっており他のアケビは5枚の小葉で区別できる。9月～10月、10cm程の実を付ける。アケビの実は自然に開くところから「開け実」の名が付く。実は種が多く果肉を食し種を吐き出し素朴な甘さを味わう。新芽はアク抜きして和え物に。蔓はかごなどの蔓細工に重宝される。

《農園の前に新たなベンチが増設されました》

鯉のぼりポールの一部だった廃材を利用して立派な椅子が出来ました。大きさは160cm×40cm。またケヤキ広場のシンボルツリーだったケヤキを植え替えるため3月伐採。太さ50cmサイズの丸太を農園まで運び出し、3～5個のケヤキの椅子が設置予定です。樹皮は自然に剥がれるのを待ちその後、表面に防腐剤を3回ほど塗りサンドペーパーを掛ければ完成とか。4月以降、新たなベンチに腰掛け緑の合間から古民家や富士山の景色は如何でしょうか？



『いろいろ辺雑記』 から (原文のまま)

- ・ほんとうにむかしにきたみたい。おひなさまがキレイでした。いろいろたけトンボなどであそべて楽しかったです。(5歳)
- ・孫と来ました。なつかしい遊具等で楽しく過ごしました。昔、父方の家で遊んだことを思い出させてもらいました。(県外、60代、家族と)



平成28年5月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	6日(金)	古民家歴史部会 部会	8日(日)
農芸部会 部会	16日(月)	古文書解読勉強会	1日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	4日(水)
里山部会 作業	14日(土) 21日(土)	クリーンアップ	3日(火) 17日(火)
	22日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	11日(水)	ふじやまだより編集会議	7日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	12日(木)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	29日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
押し絵	6月 2日(木) 13時～16時 6月14日(火) //	七夕祭り	1,500円	5月25日(水) 12名
七宝焼	6月15日(水) 13時～15時	バラの彫金板に釉薬をのせて作るブローチ	500円	5月30日(月) 6名
子ども工作	6月19日(日) 10時～11時 // 13時～14時	空きビンで貯金箱を作ろう。ビンの周りに和紙をはり蓋の上には粘土で動物を作る	無料	当日先着順 各10名
押し花絵	6月22日(水) 13時～16時	押し花をした植物を額に収める 心いやされる押し花絵になります	2,000円	5月26日(木) 5名
フラワー アレンジメント	6月23日(木) 13時30分～ 15時30分	初夏のさわやかアレンジ	2,000円	6月 7日(火) 8名
遊布	6月24日(金) 13時～16時	七夕人形	1,000円	6月 7日(火) 10名
染色教室 (草木染)	6月28日(火) 13時～16時	藍の生葉染め	2,500円	6月 7日(火) 12名

(1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。



・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会

いろりの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか

日 時：5月19日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろり端

定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 本郷ふじやま公園運営委員会 第3期指定管理者に

ふじやま公園の運営は指定管理者の指定を受けた運営委員会が行っています。

この3月で第2期の契約が満了しました。当委員会は昨年秋に公募された第3期指定管理者に応募し、無事選定されました。28年度から32年度まで5年間、引続き運営を任されました。

今後とも利用者の声に耳を傾けながら、親しみやすい公園運営に努めてまいります。

皆様には引続きご支援をお願いいたします。

★ 3月ふじやま公園来園者数 3月度来園者数 2,597名 27年度合計 24,888名

・開館時間：9時～17時
・入館料：無料
・休館日：毎月第1水曜日(5月4日)
・クリーンアップ：毎月第1・3火曜日10時～11時(5月3日・17日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593